

事業名	小型動力ポンプ購入事業
-----	-------------

総事業費	0 千円
------	------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	防災・危機管理の充実
	基本事業名	公助の強化

② 実施 (Do)

事業の意図	火災発生時の初期消火対応力の維持・向上	
事業の実績 と成果	取組内容	今年度の購入なし。
	成果	今年度の購入なし。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	今後とも更新が必要とされる小型動力ポンプについては対応が必要。 また、火災出動については年間件数が多くなく現場での使用機会が少ないため、定期的な消防訓練や機器点検等が必要である。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	小型動力ポンプの更新は令和5年度事業の実施はなかった。 小型動力ポンプについては、定期的に機器の動作状況を確認しながら、必要に応じて更新することが必要である。 小型動力ポンプについては、火災現場での使用が確実に行われるよう、消防訓練の稼働を通して定期的な機器点検が重要である。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	小型動力ポンプ2台を更新予定
-----------	----------------

事業名	消防車両購入事業
-----	----------

総事業費	27,784 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	防災・危機管理の充実
	基本事業名	公助の強化

② 実施 (Do)

事業の意図	火災発生時の初期消火対応力の維持・向上	
事業の実績 と成果	取組内容	古田分団車両の更新を実施
	成果	古田分団に消防ポンプ自動車 (CD-1) を配備

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	今後、更新が必要とされる消防車両についても対応を続けていく。 資機材の更新に伴い有効性を高めるため、消防団への取り扱いや管理方法、作業時の安全について訓練・指導等を適切に行うことが必要となる。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	令和5年度は、古田分団車両の更新を実施した。今後も更新が必要とされる消防車両については対応していく必要があるが、令和6年・7年の更新予定はない。 消防車両等含む資機材の更新の際は、消防団への取り扱いや管理方法、作業時の安全について訓練・指導等を適切に行うことが必要となる。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	車両更新計画に応じて準備を行う。
-----------	------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	古田分団消防ポンプ自動車

事業名	防火水槽設置事業
-----	----------

総事業費	0 千円
------	------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	防災・危機管理の充実
	基本事業名	公助の強化

② 実施 (Do)

事業の意図	消火能力の向上	
事業の実績 と成果	取組内容	実施なし
	成果	実施なし

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	消防水利の充足率等を鑑みて、西之表消防署等と連携を図りながら今後の設置計画をたて、事業実施を行う必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	消防水利の充実、特に耐震性防火水槽の設置については市の消防・防災体制の強化のためにも必要不可欠である。現在、消防水利の充足率の低い地域を優先的に整備を進めているが、消防上の適地や工事可能な土地、提供可能な土地の確保など、候補地の検討が難しくなっている。また、工事費も高額となりつつあるので、複数年度により具体的な設置計画を検討する必要がある。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	今年度の防火水槽設置はなし。今後の設置計画に応じて準備を行う。
-----------	---------------------------------

事業名	防災情報システム（防災無線）維持管理事業
-----	----------------------

総事業費	12,787 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	防災・危機管理の充実
	基本事業名	公助の強化

② 実施 (Do)

事業の意図	防災災害情報を確実に伝達する。	
事業の実績 と成果	取組内容	西之表市防災情報システムの維持管理担当者のシステム理解度の向上を図った。
	成果	係員による初動対応、業者の迅速な対応により適切な維持管理ができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	本システムの導入から数年が経過し、個別受信機の不具合対応の増加が予想される。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	災害情報の発信は、市の責務であると認識しており適切な維持管理及び運用に努めている。突発的な事故に対する対応については、日頃からシステム業者と連携をとる必要がある。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	適切な維持管理に努める。
-----------	--------------

事業名	急傾斜地崩壊対策（負担金）事業
-----	-----------------

総事業費	8,500 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	防災・危機管理の充実
	基本事業名	公助の強化

② 実施 (Do)

事業の意図	災害時での危険区域の住民の安全確保を行う。	
事業の実績 と成果	取組内容	県担当者との協議及び地元調整を行う。
	成果	安全対策を講じることで、受益者の安心・安全な生活環境が確保できる。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	対策費用の増大に伴う負担金が継続的に発生する。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	防災対策の負担金で、適正に執行されている。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	急傾斜崩壊対策事業として整備するもので、災害時の危険区域の住民の安全確保を行う。
-----------	--

事業名	緊急浚渫推進事業（桜園川地区・湊川地区）
-----	----------------------

総事業費	40,004 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	防災・危機管理の充実
	基本事業名	公助の強化

② 実施 (Do)

事業の意図	より安全に、より安心して生活ができる。	
事業の実績 と成果	取組内容	桜園川・湊川・今年川内内の堆積土砂除去の測量設計を職員で行い、工事設計書を作成し工事を行う。
	成果	流下能力の低下した河川内の土砂を除去することにより機能回復を行い、地域住民の安全が確保される。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	事業が令和6年度までの期限付き事業であり、期限内に事業を完了させる必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	堆積した土砂を早急に除去を行うことで、地域住民の安全が確保される。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	早期に工事の発注を行う。
-----------	--------------

【参考資料】

着工前	完成後
	